



◆◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 148 号 2024/7/1 発行）

◆◆◆ Institute for International Monetary Affairs e-Newsletter

◆◆ (No. 148, July 1, 2024)



《ウェビナー開催》

世界経済分断と新興国の行方についてのウェビナー

7月23日（火）開催予定

『世界経済分断下での新興国の成長戦略～デリスキングと求められる対応』

■■詳細と申込は以下をクリック■■

http://www.iima.or.jp/info_active/webinar/2024/20240723.html

■ 専務理事交代のお知らせ ■

IIMA では、今般 2 年間専務理事を務めた越和夫が退任、6 月 26 日より鈴木健史が専務理事に就任いたしました。

一言ずつご挨拶をお伝えさせていただきます。

【退任のご挨拶】

専務理事を務めました 2 年間の国際通貨研究所に対する皆様の多大なるご支援に感謝申し上げます。今後ともご高配をお願い申し上げるとともに、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

越和夫

【着任のご挨拶】

国際通貨研究所にとって、来年は 30 周年を迎える節目でもあり、微力ながら力を尽くして参りたいと存じます。引続きのご支援・ご高配の程、宜しくお願い申し上げます。

鈴木健史

鈴木専務理事略歴：

https://www.iima.or.jp/about/greeting/member_career.html

＼1. 理事長 渡辺博史 コラム／

「ある日の報道」

<https://www.iima.or.jp/docs/merumaga/2024/20240701watanabe.pdf>

今年 2024 年は、ある意味では 1945 年以降で最悪の年になりかねず、
11 月以降は更に悪化する懸念が大、とまで言われているが、

2. 立命館大学 政策科学部 教授 西村陽造 コラム／

「国力低下によって日本は安い国になった？」

<https://www.iima.or.jp/docs/merumaga/2024/20240701nishimura.pdf>

最近の円安を国力低下と関連づけることは難しいが、過去約 30 年間の
為替相場と内外物価の変動によって実質円安が進んだことで、...

■ 最近の調査研究レポート Recent Reports ■

【IIMA コメンタリー】(所員執筆のコラム)

1. 「実質賃金増への道のり」 岩岡聰樹

<https://www.iima.or.jp/docs/column/2024/ei2024.18.pdf>

2. 「中央銀行デジタル通貨に関する国際決済銀行の
アンケート調査結果 (2023)」 宮川真一

<https://www.iima.or.jp/docs/column/2024/ei2024.17.pdf>

3. 「着実に経済多角化が進むサウジアラビア」 五味佑子

<https://www.iima.or.jp/docs/column/2024/ei2024.16.pdf>

【国際通貨研レポート】(所員執筆の調査レポート)

1. 「日本経済の長期低迷・国力低下と円安の今後」 橋本将司

<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2024/nl2024.22.pdf>

2. 「メキシコ経済の現況 ～インフレ動向を左右する設備投資と
賃上げの綱引き～」 森川央

<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2024/nl2024.21.pdf>

3. 「インドにおける第 3 次モディ政権発足と今後の課題」 福地亜希

<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2024/nl2024.20.pdf>

4. 「米大統領選と通商政策の行方 ～「もしトラ」で想定される
主要国経済への影響～」 福地亜希

<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2024/nl2024.19.pdf>

【国際経済金融論考】（所員執筆の論文）

1. 「ドルサイクルの計量経済学的検証 ～為替レートの変動メカニズムにおける循環論の検証（その8）～」
橋本将司

<https://www.iima.or.jp/docs/report/2024/ir2024.01.pdf>

■ IIMA-GMVI・購買力平価 IIMA GMVI・PPP ─────────── ■

<https://www.iima.or.jp/research/ppp.html>

≪掲載内容≫

- IIMA-GMVI（Global Market Volatility Index）
（グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数）
- 購買力平価（PPP）
（ドル円）（ユーロドル）（ユーロ円）

■ 今月の IIMA ─────────── ■

本メルマガの冒頭でもご紹介いたしましたとおり、IIMA では、2022 年 6 月より専務理事を務めた越が退任、鈴木が専務理事に就任し、新体制にて活動を開始いたしました。研究員は世界情勢、経済、マーケット動向などについて積極的にフォローし、調査研究活動を続けております。

また、今月 23 日（火）に、ウェビナー『世界経済分断下での新興国の成長戦略～デリスキングと求められる対応』を開催いたします。本ウェビナーでは、分断やデリスキングに伴うリスクを確認するとともに、今後、新興国がとり得る成長戦略や「中所得国の罠」を回避するためのポイント、日本を含む先進国や企業に求められる対応などについて議論いたします。

皆さまのご参加をお待ちしております。

■ ─────────── ■

【バックナンバー】

<https://www.iima.or.jp/mailmagazine.html>

【次号】

2024年8月1日配信予定

【各種お問い合わせ】

admin@iima.or.jp

※閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから

→ <http://get.adobe.com/jp/reader/>

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

◇発行◇

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-13-12 日本生命日本橋ビル 8階

[HP (日本語)] <https://www.iima.or.jp>

[HP (English)] <https://www.iima.or.jp/en/>

Copyright(C) IIMA All Rights Reserved.